



自分たちの作った品物を保護者に販売する園児たち

再利用品でマラカス、ヘアゴム…

## 園児が手作り 保護者に販売

### 三漕保育園で「マルシェ」

久留米市三漕町の三漕保育園は15日、再利用した材料で年長児が作ったマラカス、クレヨンなどを保護者に販売する「こどもマルシェ」を開いた。新型コロナウイルスの影響で運動会を縮小し、キャンプを中止するなど園の催しが減る中、触れ合いや学びの機会をつくらうと初めて企画した。

年長の27人が、給食の乳酸飲料の容器にビーズなどを入れたマラカス▽自宅にあった使いかけのクレヨンを溶かして型に入れたマーブルクレヨン▽こいのぼり

の布を再利用したヘアゴム—など6品を作った。全て50円で販売。「いらつしゃいませ」と園児がかわいく呼び掛け、すぐに売り切れた。売り上げの使い道は今後、園児が決める。

保護者の大津百合子さん(31)は、長女夏鈴ちゃん(6)たちの班から、使用済みのコーヒーマシンの粉で作った消臭剤を購入し、「上手にできています」とほほ笑んだ。(野津原広中)